

韓国にてランピースキン病が発生！ 感染拡大防止にご協力ください！

＜ランピースキン病＞

ランピースキン病ウイルスによる**牛の伝染病**。主にサシバエ等による機械的な伝播により感染が拡大しますが、車両や人もウイルスを運ぶ可能性があります！

＜症状＞

全身の皮膚の結節や水腫、泌乳量の減少、発熱等の症状を呈する。死亡率は高くなく、自然治癒しますが、**生産性に影響**を及ぼします。

車両がウイルスを運ばないために

- ・農場に出入りする全ての車両は洗浄・消毒、殺虫を徹底
 - ・車内に入り込んだサシバエ等も確実に殺虫
- サシバエ等は**暖かい車両に集まり**やすい。
牧草ロールや敷料などにも入り込む可能性があるので搬入時に確認！



特に、農場を中心に生活するサシバエへの対策が重要。福岡県の発生農場では、サシバエの少ない農場内では感染拡大が抑えられていました。なお、特に冬前のハエ1匹は**来シーズンの1万匹**に相当すると言われるほど対策が重要です。

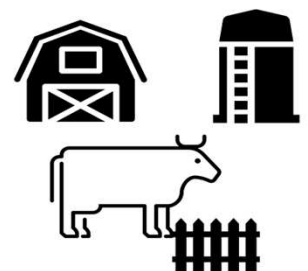
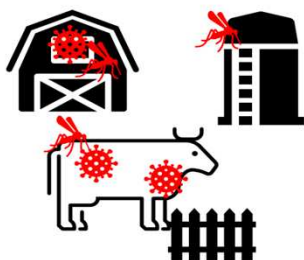


写真提供：住化エンバイロメンタルサイエンス(株)

人がウイルスを運ばないために

- ・農場ごとに専用の衣服、長靴（ブーツカバー）交換を徹底
- ・注射針、人工授精用器具等は確実に一頭ごと交換 又は消毒
- ・聴診器等、皮膚に接触する器具も適切に消毒を

農場から農場への感染拡大防止！



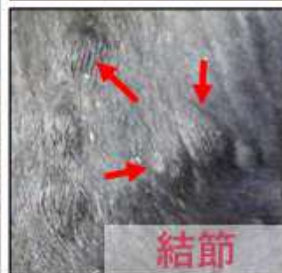
ランピースキン病の症状と発生状況

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大



疑わしい場合は
直ちに連絡！



韓国におけるランピースキン病の発生状況

(2026年7月12日時点)

過去の発生状況

	発生件数	殺処分対象頭数
2023年	131件	6,995頭
2024年	24件	304頭
2025年	－	－

全北特別自治道

2026年7月11日

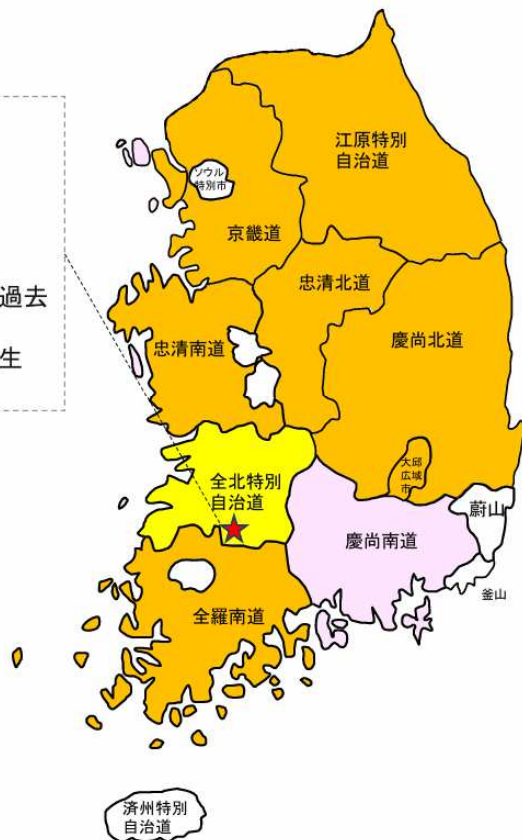
淳昌郡

韓牛農場（8頭飼養）

（参考）全北特別自治道の過去の発生状況

2023年10月24日以降14件発生

（2024年は発生なし）



- ★：2026年に発生が確認された地点
- ：2026年に発生が確認された行政区画
- ：2024年に発生が確認された行政区画
- ：2023年に発生が確認された行政区画

農林水産省動物衛生課

出典：韓国農林畜産食品部プレスリリース